

## かきせ川地域3集落の活動拠点に 集落活動センター設立

桜の便りが聞こえる4月2日(日)、旧馬荷小学校体育館で、町内で4カ所目となる「集落活動センターかきせ」の設立総会が開催されました。

設立総会では地域住民や関係者46人が出席し、規約や事業計画などについて原案通り承認され、正式に「集落活動センターかきせ」が発足しました。

同センターはかきせ川地域3集落で組織する「集落活動センターかきせ」が運営し、地域で行われている交流イベントの開催や新たな特産品の開発、簡易宿泊所の運営に取り組み、地域の活性化を図ります。

同センターの会長に選任された矢野健康さんは「地域にはさまざま課題がありますが、3集落が協力して取り組みを進めていきたい。みなさんのご協力をお願いします。」と話していました。



就任の挨拶をする矢野会長(左から3人目)

## 春芽吹く北郷ウォーキング

春を感じる暖かさと晴天の中、北郷地区の住民による全行程5kmの「春の北郷ウォーキング」が4月2日(日)に開催されました。

出発前には、地域の女性陣が昼食用のおにぎりや汁物の準備を行い、集落活動センターは食欲をそそる匂いに包まれました。

旧北郷小学校を出発した参加者16人は、道沿いに咲く春の草花を楽しみながら歩を進め、ゲジキの広場で花見をしながら昼食をとりました。途中からの合流を含め、24人が住民間の交流を深めました。

今回は地域で初めての試みとなったウォーキング。対象者は地区内の住民のみでしたが、今後は地区外の人にも参加をしてもらえようになればということ。参加者の寺岡理恵さんは、「秋にはまた風景も変わるので、別の楽しみ方ができる」と次回の開催に胸を膨らませました。



春の訪れに足を止める参加者ら

## 蝮川ぐりーんぐりーん

蝮川から仲分川まで5kmの行程を歩く「蝮川ぐりーんぐりーん」が、4月19日(水)に開催されました。

であいの里蝮川を出発した一行は、普段見逃しがちな花々に足を止めて歓声を上げていました。仲分川集会所まで歩き、お茶を楽しんだ後、折り返して、帰りはルートを変更し川沿いの道を散策しました。

集落活動センターの活動の一環として今回初めての試みでしたが、蝮川体操クラブのメンバーを中心に26人の参加があり、参加者は「自分達はこんないいところに住んでいるんだという発見につながる。気持ち元気になる」と楽しんでいました。

蝮川地区で活動をする地域おこし協力隊の田中里美さんや地域住民は「集落では普段あまり人の姿や声が聞こえない。こんな風に集落に人の声がして、姿があるというのは励みになる。」

今後は中・長距離のコースも発掘して開催していきたい」と意気込みを語っていました。



季節の草花を楽しむ様子

## 黒潮消防署 防火・防災標語表彰式

黒潮消防署が実施している「第23回黒潮消防署防火・防災標語」の表彰式が3月2日(木)に行われました。

この標語は、黒潮町内の小学校4年生から6年生を対象として1年に1度募集をしています。

最優秀作品は、入野小学校5年生の松田朋さんの「ぼくの町被災者ゼロへ助け合う」に決定しました。

この作品は黒潮消防署前に掲げ、防火・防災啓発に活用していきます。



最優秀賞受賞の松田朋さん(写真中央)